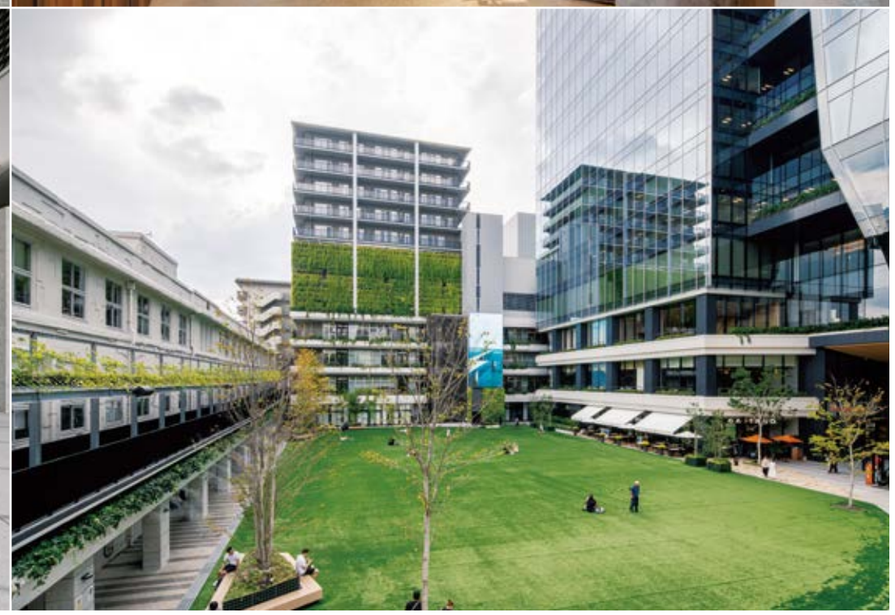


（左上）奥にセキュリティゲートが設置されている、FDGCタワー3階のオフィスエントランス。（右上）LED建築化照明とダウンライトが用いられたBIO SQUARE（2階）エレベーターホール。（左下）BIO SQUARE（1・2階）の入口に設置されているデジタルサイネージ。（右下）旧小学校南校舎（左）とFDGCテラス（中央）、FDGCタワー（右）に囲まれた、校庭跡地のFDGCパーク

福岡大名ガーデンシティ

グローバルな人材育成もめざす「天神ビッグバン」の西ゲートビル

福岡市は、天神地区に民間活力の導入を促す施策「天神ビッグバン」を推進している。その西端に位置するのが、エリア最大級の規模を誇る複合施設「福岡大名ガーデンシティ（FDGC）」。2014年に廃校になった福岡市立大名小学校跡地に、2023年6月にグランドオープンした。最高級5つ星ホテルやグローバルオフィス、カンファレンス施設、商業施設が組み込まれたFDGCタワー、クリニックや創業支援施設などからなるFDGCテラス、オフィスワーカーや宿泊者、地域住民などの交流拠点となる約3,000m²のFDGCパークによって構成されている。南側の旧小学校南校舎には福岡市のスタートアップ企業支援施設が入居し、各施設が連携することで国内外のチャレンジャーと企業が集い、グローバル展開を福岡から創出するための人材育成拠点となることも期待されている。明治通り側から見ると、周辺建物よりひときわ高いFDGCタワーは、左右2つに分割され立体的に雁行し、まち並みに美しく調和するとともに天神地区の新たなランドマークとなっている。また、商業フロア「BIO SQUARE」（1・2階）には、西日本・九州初進出を含む個性豊かな店舗が出店し、共用部に空間グレードの高い照明環境が提供されている。

福岡大名ガーデンシティ

所　在　地／福岡県福岡市中央区大名
事　業　主／大名プロジェクト特定目的会社
（積水ハウス株式会社、西日本鉄道株式会社、
西部瓦斯株式会社、株式会社西日本新聞社、福岡商事株式会社）
設　　計／株式会社久米設計、株式会社醇建築まちづくり研究所
施　　工／清水建設株式会社、株式会社鴻池組、積和建設九州株式会社
グランドオープン／2023年6月
規　　模／地上25階・地下1階（延床面積約91,400m²）

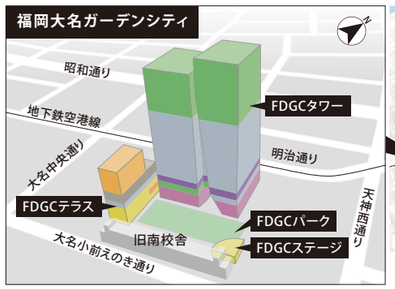
BIO SQUARE（2階）では、調光システム「ライトマネージャーFx」によって自動制御され、昼間（写真左）は明るい照明環境、夜（写真右）には配光を絞って落ち着いた空間を演出している

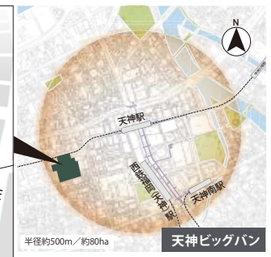
オフィスエントランスでは、ゲストが予約番号を入力すると、入場シートが発行される

ゲートにシートをかざすと、利用階に合ったエレベーターが呼び出され、番号が表示される

エレベーターホールでは搭乗するエレベーターが点灯してお知らせ

エレベーターと連動し、待ち時間を短縮する統合型セキュリティシステム





レジデンス　機械室　オフィス
創業支援に資するテナント
創業支援・人材育成施設、保育施設、公民館/老人いこいの家/多目的空間
ホテル　カンファレンス　商業施設

主な納入設備

- 統合型セキュリティシステム
- デジタルサイネージ
- 調光システム
- LEDダウンライト
- LED建築化照明